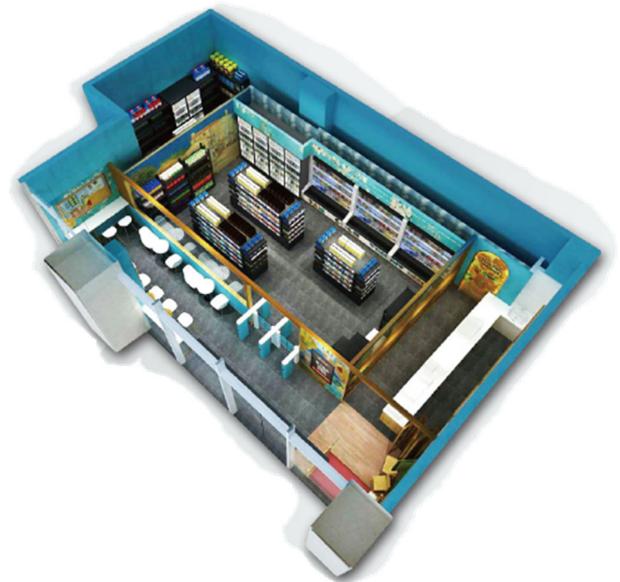
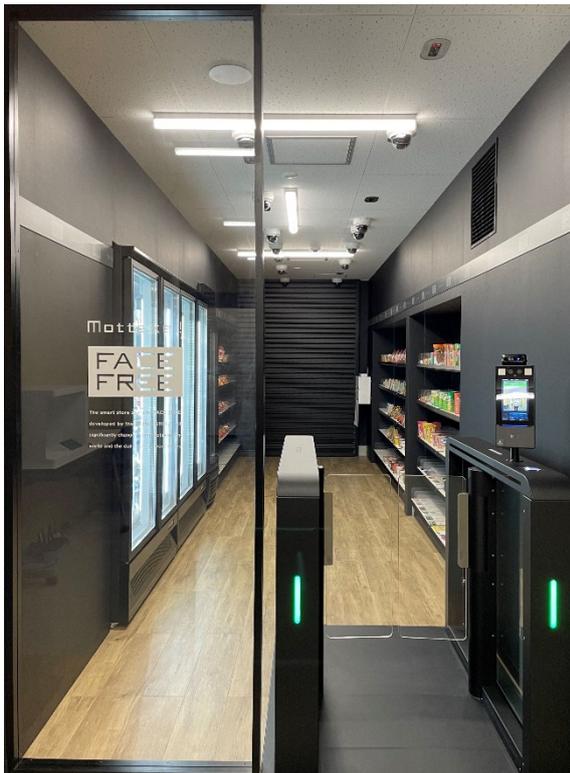


国内初の顔認証システム、ウォークスルー型無人店舗 フェイスフリーモッテケ 「Face Free～Motte ke!」を開発

ダイワ通信株式会社(本社:石川県金沢市、代表取締役社長:岩本秀成)は温度検知顔認証端末に顔をかざして入店し、好きな商品を手にとって店を出るだけで決済が完了するウォークスルー型の無人店舗システム「Face Free～Motte ke!」をダイワ通信社内にオープンしました。実運用に向けて、社員に新しい買い物体験を実感してもらい、消費者目線、店舗運営者目線で検証を重ね、まずは大学キャンパス内の購買店、労働力不足が深刻な過疎地域での活用を想定しており、2021年度中に10店舗の導入を目指します。

顔認証で入店から決済までが完了するウォークスルー型の無人店舗システムは国内初となります。店内に設置された多数のAIカメラによる画像認識機能と荷重センサー棚により、誰がどの商品を手にとったかを認識します。認識率は99%以上で、15グラム以上の商品であれば認識可能なため、本システムの導入シチュエーションはコンビニだけにとどまらず、薬局、本屋、商店街、電材屋などあらゆるリテール企業に対応しています。



<ご利用方法>

1. Face Free～Motte ke!専用アプリでクレジットカードと顔写真を登録
2. 店舗入り口で顔を端末にかざして入店
3. 好きな商品を手に取り店を出る
4. 決済完了（購入品と金額は専用アプリからリアルタイムでご確認いただけます）

特長① レジレス

「Face Free～Motte ke!」ではレジ精算やバーコードのセルフスキャンは不要です。現在無人店舗における決済方法はセルフレジを用いるシステムが多い中、「Face Free～Motte ke!」では、事前に専用アプリにクレジットカードと顔を登録すれば、以後現金やクレジットカードやスマホを持たずに手ぶらで買い物が利用できます。

特長② 人件費の削減

昨今、流通・サービス業界では、労働力不足が深刻化し、デジタル技術による業務効率化が求められています。「Face Free～Motte ke!」では、人手がかかるのは品出し業務のみのため、人件費の削減に繋がるだけでなく、管理者専用アプリで店内商品の在庫状況、販売状況がリアルタイムで把握できるため、管理者業務効率の向上や高度なマーケティングサポートにも活用いただけます。

特長③ 入店時の非接触自動検温による感染症対策完備店舗

顔認証により入店する「Face Free～Motte ke!」ですが、顔認証と同時に温度も計測し、例えば 37.5℃以上の発熱を検知すると入店ゲートを開けないといった運用が可能のため、感染症拡大防止対策をとりながら、非対面・非接触で買い物を済ませたいという消費者ニーズに対応します。

フラットと店に立ち寄り好きな商品を持って店を出るだけ。急いでいるのにレジが混んでいる、セルフレジでもたつく、などのストレスから完全に解放され、まるで悪いことをしているかのような錯覚にすら陥る。そんなこと気にせずとにかく好きなもの持ってけ！そんな思いから「Face Free～Motte ke!」は生まれました。

ダイワ通信がもつ AI カメラと顔認証の技術を最大限駆使し、感染症対策機能を備えた国内初の無人店舗システムが、お客様に新たな買い物体験を提供します。

【お問い合わせ先】

ダイワ通信(株) セキュリティ事業部

TEL:076-291-4001

ホームページ:<http://www.daiwawa.com>

※会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。 ※仕様は改良の為、予告なく変更する場合があります。